



トップページ > 唐津んもんだより

景 観光

旬 食・宿泊

愉 イベント

感 歴史

匠 唐津焼・特産品

トップページへ

唐津んもんだより

★バックナンバー★

※平成20年4月より行政支所の電話番号が変更になっておりますので、バックナンバーの問い合わせ先にはご注意ください。

第76号	第75号	第74号	第73号	第79号	第78号	第77号
第69号	第68号	第67号	第66号	第65号	第64号	第63号

平成25年5月7日

■第79号■

発行：一般社団法人唐津観光協会



「浜野浦の棚田」(玄海町)

写真：タイトル「田植えを終える」

第10回玄海町フォトコンテスト入選作品
撮影者：長崎県長崎市 浦川武弘さん

佐賀県唐津観光協会が発行するニュースレター「唐津んもんだより」第79号です。
唐津のイベント・観光情報をお届けします。

【INDEX】

特集：唐津市・玄海町の棚田とイベント

- 玄海国定公園 いろは島を望む、肥前町「大浦の棚田」
- 爽やかな潮風を感じる「2013いろは島棚田ウォーク」
- 日本一の石積みの高さを誇る国の重要文化的景観「^{わらびの}藤野の棚田」
- 2013「早苗と棚田」ウォークin ^{わらびの}藤野 ～早苗の風を受けて歩こう～
- 4万株のあじさいと滝の景色を楽しむ「第25回見帰りの滝あじさいまつり」
- 恋人同士やたくさんの方々がお越しになる、人気の観光スポット
～玄海町「浜野浦の棚田」～
- 「第14回 元気です！玄海町フォトコンテスト」作品募集中

見所・イベント予告

- 平成25年3月12日指定 国指定重要無形民俗文化財「呼子大綱引」
- 呼子大綱引会館オープン
- 幻想的なホテルの光が飛び交う、古窯の森公園「音楽とホテル鑑賞の夕べ」

■ATAだより

・～受入始まりました～ 民泊受入民家募集中！

■唐ワンくん日誌(44)

- ・おら東京さ行くワン
- ・5月の唐ワンくんおすすめ情報
- ～ 2週連続で東京のデパートに出張します ～

唐津よもやま話

■ふるさとの文化財巡り(2)

- ・国指定天然記念物「高串アコウ自生北限地帯」

特集:唐津市・玄海町の棚田とイベント

■玄海国定公園 いろは島を望む、肥前町「大浦の棚田」



総面積約25.5ha 約1,000枚の規模を持つ
「大浦の棚田」



田植え後の風景

唐津市の西部に位置する肥前町では、「大浦の棚田」をはじめ「入野の棚田」や「納所の棚田」など、町のあちこちに多くの棚田を見ることが出来ます。

今回ご紹介する「大浦の棚田」は「日本の棚田百選」に選定されており、伊万里湾に浮かぶ大小の島々が作り出す景勝「玄海国定公園 いろは島」を望む絶景の場所にあります。大浦岡・大浦浜・満越の3地区に跨る、総面積約25.5ha 約1,000枚の規模を持つ扇状の棚田で、米の生産や災害の防止をはじめ、農作業体験や美しい景観の保持など、多面的な機能を合わせ持っています。

水張りの時期は3月下旬位からはじまります。4月中旬位から田植えがはじまり、5月の中頃には青々と育った早苗が棚田の一面に広がります。8月中旬頃からの秋の収穫の季節には潮風にそよぐ稲穂の風景を楽しむことができます。

「大浦の棚田」は、海岸線から山間部に沿って作られていることが特徴で、海と棚田との独特の美しい風景を見ることが出来ます。また、天気の良い日には伊万里湾に点在する無数の島々も見ることができます。

【場所】唐津市肥前町大浦岡

【お問合せ】唐津市役所肥前支所産業課 観光文化スポーツ係
TEL:0955-53-7145

おおまかな田植え等のスケジュール(予定)は下記の通りです。

- ・水張り(3月下旬～4月上旬)・田植え(4月中旬～下旬)・稲刈り(8月中旬～下旬)



潮風にそよぐ青々とした稲が眩しい棚田の風景



雪化粧で真っ白になった「大浦の棚田」



■ 爽やかな潮風を感じる「2013いろは島棚田ウォーク」



いろは島や大浦の棚田を眺めながら歩く「2013いろは島棚田ウォーク」

日本の棚田百選にも選定されている大浦の棚田をバックに「2013いろは島棚田ウォーク」が開催されます。

棚田をめぐるながら約11.5kmのコースを潮風とともに歩きます。また参加された方には美味しいごはん(棚田米)やお鍋などの昼食がついており、お楽しみ参加賞なども用意されています。

この機会にいろは島や大浦の棚田を眺めながら歩く「2013いろは島棚田ウォーク」に参加されてみてはいかがでしょうか？

【日時】平成25年5月25日(土)小雨・小風決行
『ふれあい自然塾ひぜん』集合
受付開始 8:00
スタート 9:00
いろは島展望台着 10:00
ゴール 12:00

【申込】はがき、電話、FAXまたはEメールで、参加者の住所・氏名・年齢・電話番号を記入して5月15日(水)までに事務局まで申し込んでください。
ただし定員200名になり次第締め切りとなりますのでご注意ください。

【参加費】大人1000円、小中学生500円(当日撤収)

【その他】飲み物、帽子、タオル、ゴミ袋等をご持参ください。

【お問合せ】唐津市肥前町支所産業課内
肥前町棚田ウォーク実行委員会事務局
住所:〒847-1526
唐津市肥前町入野甲1703
TEL:0955-53-7145
FAX:0955-54-2521
E-mail: hizen-sangyou@citi.karatsu.lg.jp



[詳細…\(PDF\)](#)



■ 日本一の石積みの高さを誇る国の重要文化的景観「^{わらびの}葦野の棚田」



山々の緑が映り込み輝く水田



青々とした稲が伸びる棚田



黄金色に輝く稲穂がそよぐ風景



色鮮やかな黄色い菜の花が
棚田一面に広がる

四季折々の表情を見せる「蕨野の棚田」

唐津市相知町「蕨野の棚田」は、八幡岳（標高763.6m）の裾野にあり「日本の棚田百選」及び国の「重要文化的景観」に選定されている棚田です。棚田の規模は、約36haで、山の斜面に約700枚の田が広がっています。

「蕨野の棚田」の特徴は、全て人力で積まれた石積み
の棚田であることです。江戸時代から昭和20年頃ま
での間に作られた棚田は、現在も地元の方々の
手で草取りや水の管理がきめ細かく行われている
ため、綺麗な石積み景観を見ることができます。一番
高い石積みの高さは8.5mで、日本一の高さを誇りま
す。大きいもので1m以上ある石が使用されており、
その姿は壮麗で、まるで山城のような景観が観賞でき
ます。



まるで山城のような景観が観賞できる
「蕨野の棚田」

おすすめのビューポイントは、棚田を俯瞰できる「大平展望所」や全体の棚田が見られる「五百羅漢展望所」です。また、棚田にはウォーキングコースの矢印が設置されており、約7kmを歩くウォーキングも楽しめます。

水張りの時期には山々の緑が映り込み輝く水田の風景にはじまり、初夏になると青々とした稲が伸びる風景、収穫の秋には黄金色に輝く稲穂がそよぐ風景など、四季折々の表情を見せる「蕨野の棚田」。春には、色鮮やかな黄色い菜の花が、棚田一面に広がります。

また、相知町のブランド米である棚田米「蕨野」は、生活雑排水が入らない清水で栽培されており、減農薬・減化学肥料にこだわった安全（佐賀県特別栽培農産物）でおいしいお米として高い評価を得ています。

【場所】唐津市相知町平山上甲946番地1（蕨野棚田交流広場）

【お問合せ】唐津市相知支所産業課
TEL:0955-53-7125

今期のおおまかな田植え等のスケジュール（予定）は下記の通りです。

- ・水張り（5月20～26日）・田植え（5月27日～6月4日）・稲刈り（9月22日～10月6日）
- ・菜の花（3月30日～4月13日）



■ 2013「^{わらびの}早苗と棚田」ウォークin 蕨野 ～早苗の風を受けて歩こう～



（写真提供：唐津市）

早苗がすくすく育つ時期、心と体を癒しに、蕨野の棚田を歩いてみませんか？

歩いたあと食べる棚田米おにぎりは格別です。一粒一粒が本当に美味しいですよ。

【日時】平成25年6月16日(日)

受付 10:00～10:30

出発式・スタート 10:30～

ゴール 12:00～13:30

【集合場所】蕨野棚田交流広場(蕨野の棚田入口)

唐津市相知町平山上甲946番地1

【駐車場】蕨野集落周辺(係員が案内します)

【参加費】小学生以上1,000円

※棚田米おにぎり・スイカなど付いています。

【申込方法】代表者の住所・氏名・電話番号・参加人数を連絡してください。

【申込期限】平成25年6月11日(火) ※当日申込はできません

【主催・お問合せ】棚田と菜の花実行委員会(唐津市相知支所 産業課内)

TEL:0955-53-7125

FAX:0955-62-2573

E-Mail: ouchi-sangyou@city.karatsu.lg.jp

住所: 〒849-3201 唐津市相知町相知2055-1



■ 4万株のあじさいと滝の景色を楽しむ「第25回見帰りの滝あじさいまつり」



4万株のあじさいと滝の景色を楽しむ「第25回見帰りの滝あじさいまつり」

「第25回見帰りの滝あじさいまつり」が、日本の滝百選に選ばれている佐賀県唐津市相知町の「見返りの滝」周辺で6月8日(土)～6月30日(日)の間行われます。

ふもとの道路沿いから滝まで50種類、約4万株のあじさいと滝の景色を楽しもうと毎年沢山の方が訪れています。

リピーターも多く「毎年楽しみにしています、晴れの日も雨の日も色々な景色が楽しめます。」との声もよく聞かれるそうです。

夜には、ライトアップ(5月1日～9月30日 20～22時)もされ屋間と違い幻想的な雰囲気を楽しめます。

滝周辺のお食事処では、鯉料理などの美味しい山川の幸も味わえ、期間中は色々なイベントも企画されています。土・日はJR相知駅よりシャトルタクシーも運行しています。なお、会場では美化協力金200円(温泉割引券付)の協力をお願いされています。

《イベント日程》

6月1日(土)	グラウンドゴルフ交歓大会
6月8日(土)	あじさいフラダンス (福岡のフラグループ)
15:00～滝壺付近	
6月8日(土)～6月30日(日)	あじさい俳句募集
6月8日(土)～6月30日(日)	あじさいフォトコンテスト
6月9日(日)	3on3大会
6月15日(土)	JR九州あじさいウォーキング



[詳細・・・\(PDF\)](#)

【開催場所】唐津市相知町伊岐佐 見帰りの滝周辺

【開催期間】平成25年6月8日(土)～30日(日)

【主催】一般社団法人唐津観光協会

あじさいまつり実行委員会
【後援】唐津市
【協賛】相知郵便局・JR九州唐津鉄道事業部・唐津東商工会
【お問合せ】一般社団法人唐津観光協会 相知支所
TEL:0955-51-8312
唐津市相知支所
TEL:0955-53-7125



■ 恋人同士やたくさんの方々がお越しになる、人気の観光スポット
～ 玄海町「浜野浦の棚田」～



「恋人の聖地」にも認定されている
「浜野浦の棚田」



みずみずしく成長した苗の緑と
湧き上がる入道雲



玄界灘に沈む夕日が水面の色を変える

浜野浦の棚田は、何の機械もなかった戦国～江戸時代にかけて山を切り開き、石を積み上げ1段1段築かれたものです。その後も整備・保全を繰り返し、今では、面積11.5ha、枚数283枚もの規模に達しました。

ふるさとの原風景ともいえる叙情的な景観、特に5月上旬には夕日が棚田の水田を真っ赤に染め、何ともいえない美しい光景です。平成11年には「日本の棚田百選」、平成19年に「恋人の聖地」、そして平成23年に「22世紀に残す佐賀県遺産」に認定されました。

四季折々の顔を見せ、春は4月の第1日曜日まで菜の花が楽しめます。玄界灘に沈む夕日が水面の色を変える様は息をのむ美しさで、見ごろは4月下旬から5月下旬頃です。

夏は、海と空と湧き上がる入道雲を背景に、みずみずしく成長した苗の緑が一際鮮やかです。夜には棚田越しの海に漁火をご覧ください。

秋は、棚田一面が黄金色に実る季節。抜けるように青い空と重たげな金の稲穂が目覚めるコントラストを生み出します。

冬はどこかのんびりした風情があり、棚田の原風景があるともいえます。ごくまれですが、雪が降った時は一面真っ白な雪のじゅうたんが出来上がります。

天候が気になる方はインターネットライブカメラにアクセスすれば、24時間リアルタイムの棚田をご覧ください。駐車場のすぐ側で安心してゆっくり棚田を眺めることができ、撮影スポットとしてだけでなく、癒しの場として、恋人同士の語らいの場として、たくさんの方々がお越しになる人気の観光スポットです。

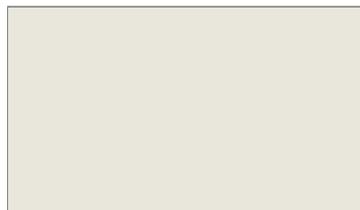
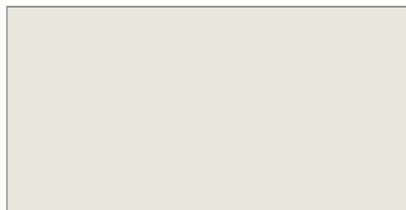
【場所】東松浦郡玄海町浜野浦

【お問合せ】一般社団法人唐津観光協会 玄海支所
TEL:0955-51-3007

ライブカメラ 玄海町HP <http://www.town.genkai.saga.jp/home.html>

おおまかな田植え等のスケジュール(予定)は下記の通りです。

・水張り(4月中旬) ・田植え(4月下旬～5月5日頃) ・稲刈り(8月中旬～下旬)





棚田一面が黄金色に実る秋の棚田



雪の棚田



■「第14回 元気です！玄海町フォトコンテスト」作品募集中

玄海町の豊かな自然、活気あふれる人々、郷土色に彩られた行事等「元みなぎる玄海町」の写真を広く募集する「第14回 元気です！玄海町フォトコンテスト」が開催されます。写真芸術の向上と玄海町の宣伝・発信のための素材とすることを目的に開催されるもので、玄海町を代表する観光スポット「浜野浦の棚田」や、夏の風物詩「玄海町花火大会」など、毎年多くの作品が応募されます。最優秀賞(1点)に10万円、優秀賞(2点)に3万円の賞金も用意されています。

テーマは「玄海町の自然、風景、行祭事、生活など」です。この機会に玄海町で撮影された自慢の作品を応募されてみてはいかがでしょうか。

【応募資格】 全国のプロ アマチュア

【応募点数】 1人3点以内

【作品の規格】 カラー・白黒：四ツ切(ワイド可)組写真不可
平成24年4月以降に撮影された未発表のものに限る

【締切】 平成25年5月31日(金)必着

【発表】 平成25年6月下旬(入賞者に直接通知)

【応募方法等詳細】 [こちら](#)より

【お問合せ・作品送付先】 玄海町地域振興会
〒847-1421 東松浦郡玄海町諸浦338-1
TEL:0955-51-3007
FAX:0955-51-3008



最優秀賞:『夏空の大輪』
松本直規さん(佐賀県伊万里市)



優秀賞:『満月の棚田』
長浦敏雄さん(長崎県佐世保市)



優秀賞:『幸せの風船』
那須康二さん(熊本県人吉市)

「元気です！玄海町フォトコンテスト」前回の入賞作品



見所・イベント予告

■ 平成25年3月12日指定 国指定重要無形民俗文化財「呼子大綱引」



今年3月12日、国指定重要無形民俗文化財の指定を受けた「呼子大綱引」



400年以上の変わらぬ思いが一本の大綱に込められる伝統の戦い「呼子大綱引」が、6月1日(土)2日(日)の2日間、唐津市呼子町で開催されます。

「呼子大綱引」は、今から410年ほど前の豊臣秀吉が文禄・慶長の役で名護屋城(現在の唐津市鎮西町)に陣を構えていた頃、兵の士気を高めるために加藤清正と福島正則の陣営を東西に分け、軍船のとも綱を使って綱引きをさせたのが始まりといわれています。その伝統は今も熱き呼子の血潮として脈々と受け継がれており、今年3月12日、国指定重要無形民俗文化財の指定を受けました。

呼子の町を岡組と浜組に分け、ドラと火矢を合図に直径15cm、長さ400mの大綱を引き合い、3本勝負で勝敗を決めます。岡組が勝った年は豊作、浜組が勝った年は大漁になるといわれています。見物客も飛び入りで参加できることもあって毎年大勢の観光客で賑わいます。



[チラシ…\(pdf\)](#)

- 【日時】 平成25年
6月1日(土) 子供綱 13:00～
(呼子支所前)
2日(日) 大人綱 神事 12:30～
(三神社前)
13:00～
(三神社前)

【開催場所】 唐津市呼子町 呼子大綱引通り
※フォトコンテスト同時開催

【お問合せ】 唐津市呼子支所
TEL:0955-53-7165



[詳細…\(PDF\)](#)



■ 呼子大綱引会館オープン



呼子大綱引会館では、実際に使用する大綱(1本100m)4本を見ることができ、綱引きの映像や各町の法被も展示されています。毎年6月の第一土曜と日曜に行われる行事当日以外でも「呼子大綱引」の雰囲気に触れることができます。

- 【住所】 唐津市呼子町呼子大綱引通り
【営業時間】 9:00～17:00
【お問合せ】 唐津市呼子支所
TEL:0955-53-7165



■ 幻想的なホタルの光が飛び交う、古窯の森公園「音楽とホタル鑑賞の夕べ」



唐津市北波多の「古窯の森公園」園内の稗田川沿いでは、例年5月終わり頃から、たくさんのホタルが飛び交う姿を見ることができます。6月2日(日)は、音楽とホタル鑑賞を楽しむイベント「音楽とホタル鑑賞の夕べ」が開催され、夕暮れから夜が迫る中での琴や和太鼓の演奏を楽しんだあと、暗くなった20時頃からホタルの乱舞を鑑賞します。幻想的なホタルの光を観にお越し下さい。

- 【開催日】 平成25年6月2日(日)
【時間】 18:30開演
【場所】 古窯の森公園 唐津市北波多稗田
入場無料 雨天の場合は、北波多社会体育館で演奏会開催
【お問合せ】 唐津市役所北波多支所産業課 TEL:0955-53-7135



■ ATAだより

～ 受入始まりました ～
民泊受入民家募集中！

唐津市と玄海町で4月より、修学旅行生の体験民泊が始まりました。
5月は約2600人の受入を予定しています。

修学旅行の一環として、関西・関東圏の中学3年生が、唐津市や玄海町を訪れます。
民泊受入は各家庭3～4名受入をお願いしています。
生徒達は1泊2日家庭でお世話になりで家族の一員として各家庭で過ごし家業や家事のお手伝いや家族全員で食事などを体験します。
修学旅行を通じて唐津市・玄海町の魅力に触れていただきます。

一般社団法人唐津観光協会ATA事業部では、唐津・玄海体験型旅行受入推進協議会と連携を図り、受入れ民家の募集をしています。
修学旅行生と一緒に思い出をつくってみませんか。

【お申込・お問合せ】 一般社団法人唐津観光協会 ATA事業部
(唐津よかばい旅倶楽部)
TEL:0955-74-3611
FAX:0955-74-3612
URL: <http://www.yokabai-tabiclub.jp>



体験風景



■唐ワンくん日誌(44)

～ おら東京さ行くワン ～

よい子のみなさん、こんにちワン！

唐ワンくんは4月13日で5歳になりました。今年もたくさんの方からお祝いしていただきました。全国各地から誕生日プレゼントも贈っていただきました。本当にありがとうございます。これからも素敵に年を重ねていきたいです。

新緑の季節を迎え唐津城はとってもいい景色が広がっています。今年も藤の花は見事に咲いていました。鮮やかな紫色の藤の花に魅せられて、唐ワンくんの兜も立派に栄えていました。



たくさんのプレゼントに喜びを隠せない唐ワンくん



唐津城の藤と同じ紫色の兜の唐ワンくん

今後のスケジュールやイベント情報は「唐ワンくんのブログ」で絶賛公開中

→ <http://ameblo.jp/karawankun/>

●5月の唐ワンくんおすすめ情報

～ 2週連続で東京のデパートに出張します ～

全国の百貨店で開催される九州物産展には佐賀県のもの、唐津市のものも多数出展出品しています。そして5月に東京のデパートで開催される九州物産展に2週連続で唐ワンくんも参加します。

第1週目(5月19日)は小田急百貨店町田店へ、第2週目(5月24～27日)は玉川高島屋へ。唐ワンクンの他にも、九州のゆるキャラが多数登場予定となっております。東京には年に数日しか訪れない唐ワンクンと九州グルメを堪能しませんか。

《東京出張1週目》

【開催店舗】小田急百貨店町田店8階催事場（東京都町田市）

【名称】全九州味と技展に九州のゆるキャラ大集合

【唐ワンクン登場日】5月19日(日) ①11:00～ ②14:00～

【詳しくは】小田急百貨店町田店

<http://www.odakyu-dept.co.jp/machida/>

《東京出張2週目》

【開催店舗】玉川高島屋6階催事場
(東京都世田谷区玉川3丁目)

【名称】九州のうまいもの展

【唐ワンクン登場日】5月24日(金)～27日(月)

①13:00～ ②15:00～

【詳しくは】玉川高島屋



唐ワンクン東京で一花咲かせて来ます

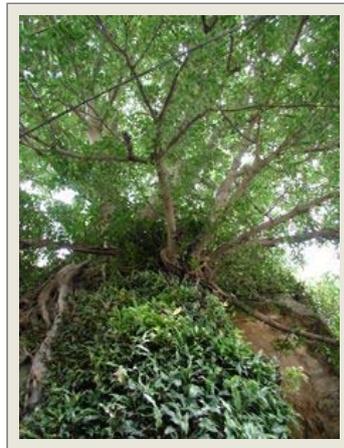
<http://www.takashimaya.co.jp/tamagawa/>



唐津よもやま話

■ふるさとの文化財巡り(2)

国指定天然記念物「高串アコウ自生北限地帯」



アコウは、クワ科の高木で、東南アジア・台湾・沖縄・九州・四国の海岸や島々に広く分布しています。岩や樹木上でも発芽し成長することで、土台にした樹木を枯らしてしまうことから、ガジュマルなどとともに「絞め殺しの植物」と呼ばれています。葉は、厚く楕円(だえん)形で長さ10cmほど、葉柄は3cmほどあって、枝から互い違いの方向に生えています。

春に落葉し、一斉に新しい葉に替わります。また、実は直径約1cmのイチジクに似た形で、熟すと淡い紅から黒紫色になります。

指定された当時、アコウが自生するこの地域は小さな入り江で、切り立った砂岩上に10数株が自生していたようですが、埋め立てなどによって環境が変化し、現在では数株だけになっています。その中でも最大のものは、樹齢190年と推定されています。幹周り50cmほどの幹は数本に分かれ、長さ9mにもおよぶ気根は岩壁にまわり付くように垂れ下がっています。

高串のアコウ自生地は、分布の北限ということで、植物を研究する上で貴重な地域となっています。ただ、県が発行している「レッドデータブックさが」によると、佐賀県カテゴリーの「じゅんぜつめつぎくしゆ準絶滅危惧種」となっており、開発などによる環境の変化が心配されます。

《高串アコウ自生北限地帯》

【住所】唐津市肥前町田野甲2966

【お問合せ】唐津市文化課

TEL:0955-72-9171



発行:一般社団法人唐津観光協会
〒847-0816 唐津市新興町2935-1 JR唐津駅内
電話番号:0955-74-3355 FAX番号:0955-74-3365
URL:<http://www.karatsu-kankou.jp/>

[ページの上部へ↑](#)

